

佐倉市 地域防災力向上計画

(趣旨)

本計画は、千葉県地域防災力向上総合支援補助金交付要綱第2条第1項に規定する、地域防災力を充実強化するために市町村等が策定する計画について定めたものである

(計画1) 自主防災組織等の育成・活性化

1 自助・共助の取組を促進し、地域防災力の向上を図るにあたり検討が必要な地域の実情や課題

- ・本市は、高齢化の進展が著しく、平成26年3月末時点で、26.1%であった高齢化率が、令和8年3月末には、33.8%となり、高齢者の5人に3人が後期高齢者になるものと見込んでいる。さらに、そのときの要支援・要介護認定者数は、約9,300人となる見通しである。大規模災害発生時には、これらの高齢者の安否確認、避難の支援が必要となるが、現在の自主防災組織数では、発災時の避難支援の対応に十分な数が確保できていないことから、自主防災組織の組織率の向上・資機材の整備が課題である。

2 実情や課題を踏まえて、今後重点的に取り組む必要がある事業

- ・高齢者等の避難支援対策として、自主防災組織の設置促進や活動活性化、活動に必要な資機材等の整備

3 令和4年度末までに達成する目標

- ・現在の自主防災組織数117(R3.4時点)が、5組織の新設により、122組織となる。

4 目標を達成した際の事業効果

- ・自主防災組織数の増加に伴い、自主防災組織のカバー地域においては、大規模災害発生時の高齢者等の避難支援体制の整備がされる。

(計画2) 避難環境の整備

1 自助・共助の取組を促進し、地域防災力の向上を図るにあたり検討が必要な地域の実情や課題

- ・地形や気象条件により、防災行政無線の屋外スピーカーの音が聞こえない。また、携帯電話・スマートフォンを持っていない高齢者への情報伝達が十分ではない。

2 実情や課題を踏まえて、今後重点的に取り組む必要がある事業

- ・戸別受信機の配備

3 令和4年度末までに達成する目標

- ・市からの情報収集が困難な住民・地域、携帯電話等を持たない避難に時間のかかる高齢者、医療・保育施設、地区代表者及び自主防災組織代表者に対し、2,000台の戸別受信機を配備する。

4 目標を達成した際の事業効果

- ・これまで情報の取得が困難だった方にも情報が伝わる。